

IV 行政サービスについて①

問7 市の財政状況が厳しくなる中、これからの行政サービスの水準と市民負担のあり方についてどう思われますか？

(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. 市民の負担(例:税金、次世代への借金)が増えたとしても、行政サービスの維持・充実を優先すべき
2. 行政サービスの種類によっては、サービスを受け入れる人の負担(例:公共施設の利用料金等)が増えることはやむをえない
3. 行政サービスの維持・充実よりも、市民の負担を増やさないとを優先すべき
4. わからない
5. その他()

問8 公共施設(市役所庁舎、学校、公民館などのいわゆるハコモノ)についておたずねします。福祉や医療、子育てなど、将来に向けて必要な行政サービスを維持するうえで、今後の瑞穂市の公共施設のあり方についてあなたのお考えに近いのはどれですか？(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. 公共施設は減らすよりも、増やしていくべき
2. 公共施設は維持すべきであるが、そのためなら民間への委託などを行い、施設使用料が現在より高くなっても仕方ない
3. 公共施設は必要であり、施設使用料の増額は行わず、税金で維持すべき
4. 老朽化した施設や重複する施設などの廃止や統合、用途の転換を行い、経費を減らすべき
5. その他()

IV 行政サービスについて②

問9 合併して12年が経過しましたが、公共施設の中でも同じ機能を持った施設(重複施設、例えば市役所・図書館・公民館など)が複数あります。

建物など老朽化に伴う維持・管理・更新(改修を含む)などにかかる将来負担を考慮した上で、このような重複施設についてどう思いますか？

(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. 積極的に廃止や統合をする必要がある
2. 維持・管理などにかかる経費を削減し、廃止や統合はまだ考えない
3. 利用状況を調査した上で、廃止や統合を考えるべき
4. 現状のままが望ましいが、維持・管理・更新などにかかる将来負担が増加するのであれば、廃止や統合を考えるべき
5. わからない
6. その他()

問10 瑞穂市の人口は微増傾向にありますが、いずれ人口減少、少子高齢化に移行するものと推測されます。瑞穂市のインフラ(道路や上下水道、公共交通)について、将来に向けて必要な行政サービスを維持するうえで、今後の本市のインフラのあり方についてあなたのお考えに近いのはどれですか？

(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. インフラの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない。利用料による負担や税金の負担が高くなっても仕方ない
2. インフラの維持・更新費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき
3. わからない
4. その他()